

ここで見られる魚：ブリ

ブリ (*Seliora quinqueradiata*)

ブリ（英名 yellowtail をキハダマグロの英名 yellowfin tuna と混同しないようにして下さい）は太平洋の日本からハワイにかけて生息しています。日本ではこの魚は年齢とサイズによって異なった名前が与えられます。また、それらの名前は地域によっても異なります。徳島県では、全長 10cm 未満のブリはモジャコと呼ばれ、約 500g の物はツバスとして知られます。約 1kg からはハマチと呼ばれ、6kg 以上の物はブリと呼ばれます（後者 2 つの名前は寿司や刺身のレストランでよく見かけるかもしれませんが）。夏から秋にかけて、ツバスとハマチは鳴門海峡へと移り住み、そこで漁師たちに釣竿と釣糸を使って捕られてしまいます。釣られてしまう頃には、その多くがブリのサイズと体重にまで育っています。瀬戸内海の播磨灘（鳴門の北、淡路島の西）では、すだちぶりを含むブリの養殖が盛んです。すだちぶりは、この地域特産の小さな柑橘類であるすだちを含んだ餌で育てられています。